

**JP61223935 A**  
**PRINTING CONTROLLING SYSTEM**  
**TOSHIBA CORP**

**Abstract:**

**PURPOSE:** To execute smoothly printing, and also to curtail an unnecessary data file by providing a means for inserting directly a non- inserting mark to an inserting data document, and handling a data to which its mark has been put, as other data than a printing output object. **CONSTITUTION:** When 'printing' is selected from a keyboard 21, and an inserting data document is inputted, in a stage in which a menu picture is displayed on a CRT display device 19, a CPU 11 transfers a fundamental document for executing an inserting printing, and a document in which an inserting printing data is contained, from an FD 18 to memories 12, 13, respectively. Subsequently, an inserting printing mark 31 is fetched by one piece each from the head of the fundamental document by an inserting data extracting device 15, and a data of the same number as the inserting mark number which has been put to the fundamental document is extracted by the inserting data extracting device 15. Thereafter, its data is transferred to a non-inserting data processor 16. This device 16 inserts a data to which a non-inserting mark 32 is not put, into an inserting position of the fundamental document.

**COPYRIGHT:** (C)1986,JPO&Japio

**Inventor(s):**

YAMAMOTO HIDEKI

**Application No.** 60065270 JP60065270 JP, **Filed** 19850329, **A1 Published** 19861004

**Original IPC(1-7):** G06F00312  
G06F01520 B41J00546

**Patents Citing This One** No US, EP, or WO patent/search reports have cited this patent.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-223935

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>  
G 06 F 3/12  
15/20  
// B 41 J 5/46

識別記号

庁内整理番号

7208-5B  
A-7010-5B  
8004-2C

⑭ 公開 昭和61年(1986)10月4日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 印刷制御方式

⑯ 特 願 昭60-65270

⑰ 出 願 昭60(1985)3月29日

⑱ 発 明 者 山 本 英 樹 青梅市末広町2丁目9番地 株式会社東芝青梅工場内  
⑲ 出 願 人 株 式 会 社 東 芝 川崎市幸区堀川町72番地  
⑳ 代 理 人 弁 理 士 鈴 江 武 彦 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

印刷制御方式

2. 特許請求の範囲

さし込み印刷のための基本文書を保存する第1の記憶手段、及び上記基本文書内の対応付けされた位置それぞれにさし込まれるさし込みデータ文書を保存する第2の記憶手段と、この第2の記憶手段に保存されているさし込みデータ文書のうちの任意のデータに印刷対象外であることを示す特定のマークを付す手段とを有し、上記第1の記憶手段に保存されているさし込み印刷基本文書と上記第2の記憶手段に保存されているさし込みデータ文書とをもとに印刷する際、上記特定のマークが付されたデータを除いて印刷出力することを特徴とした印刷制御方式。

3. 発明の詳細な説明

〔発明の技術分野〕

本発明はさし込み印刷機能をもつ印刷装置の印刷制御方式に関する。

〔発明の技術的背景とその問題点〕

従来、文書作成装置、文書処理装置等に接続される印刷装置に於いて、例えば顧客名簿の中からその時々ガイド内容等に応じて任意選択的に顧客を選択し、案内状、ダイレクトメール等を作成した場合に、さし込み印刷機能が有効となる。この際さし込み印刷基本文書(又は定形部分)のさし込み対象となる既に登録されている既存データ内の或る部分(例えば地域を特定した宛先等)を印刷したい場合に、従来では、その部分を残し、他(例えば特定地域外の宛先等)を削除して別の文書名で保存をし使用していた。そのため、従来では或る特定の部分の印刷の度に、その都度、データ文書を作り直し、別に保存しなければならないという無駄があった。

〔発明の目的〕

本発明は上記実情に鑑みなされたもので、さし込み対象となる既存データ内の任意の或る一部のデータをその時々に応じて印刷出力対象外

とするような場合に、その都度、データ文書を作り直し、各々別個に保存しておく必要がなく、既存登録データ内より容易かつ迅速に不要なデータを印刷出力対象外として指定でき、これによってデータファイルが削減でき、文書の有効活用が計れるとともに、一部の文書を変えた印刷時の処理作業を簡易化し、迅速化できる印刷制御方式を提供することを目的とする。

#### 〔発明の概要〕

本発明は、さし込みデータ文書に、直接、非さし込みマークを挿入する手段と、そのマークが付されたデータを印刷出力対象外のデータとして扱う手段とを備えた構成としたもので、これにより特定のデータを印刷する度に新たな文書を作成し保存する必要がなくなり、印刷をスムーズに行なうことができる。更に不要なデータファイルが削減でき、文書の有効活用を促し、時間のロスを抑えることができる。

#### 〔発明の実施例〕

以下図面を参照して本発明の一実施例を説明

す。

第1図は本発明による一実施例装置の構成を示すブロック図である。図中11は個々の装置の制御、及び全体の統轄を行なうCPU、12はさし込み印刷を行なう際の基本文書が入っているメモリ、13はメモリ12に格納された基本文書のさし込みデータが入っているメモリである。14は文書中のさし込み印刷マークを検出するさし込みマーク検出装置、15はさし込みマーク検出装置14で検出したさし込みマークナンバ(61;ここでは2桁の数字)と同じナンバのデータを見つけるさし込みデータ抽出装置である。16はデータに〔非さし込み印刷マーク〕の処理をする非さし込みデータ処理装置、17はさし込み印刷マークに従うさし込み処理を行なうさし込みデータ処理装置である。18は上記メモリ12、13の文書を保存しているFD(フロッピディスク)、19はCRTディスプレイ装置(CRT)、20はさし込み印刷出力機能をもつプリンタ装置(PRT)、21はキーボー

ド装置(KBD)である。

第2図は上記実施例の要部の処理フローを示すフローチャートである。

第3図は上記さし込み印刷基本文書用メモリ12に貯えられるさし込み印刷基本文書例を示す図、第4図は上記さし込みデータ文書メモリ13に貯えられるさし込みデータ文書例を示す図である。ここで31はさし込み印刷マーク(内部コードは88H)、32は非さし込み印刷マーク(内部コードは89H)、33は改行マーク(内部コードは83H)である。

第5図は上記第3図、及び第4図に示すデータ内容に従う印刷出力例を示している。ここでは非さし込み印刷マーク32が付されたデータ(Mr.YAMAMOTO)が印刷出力対象から除外されている。

ここで一実施例の動作を説明する。まずCRTディスプレイ装置19にメニュー画面が表示されている段階で、“印刷”をキーボード21より選択し、さし込みデータ文書を入力すると、

CPU 11はFD 18よりさし込み印刷を行なう基本文書と、さし込み印刷データが入っている文書を、それぞれメモリ12、13に転送する。次に、さし込みマーク検出装置14が基本文書の先頭からさし込み印刷マーク31を1つずつ取出し、さし込みデータ抽出装置15により、基本文書に付けられているさし込みマークナンバ(61;さし込み印刷を指定する際、データを挿入する箇所に□××□のように2桁の番号(数字)が付けられ、さし込みデータにも××□データのように同じ番号をつける)と同じナンバのデータをメモリ13より抽出し、非さし込みデータ処理装置16にそのデータを移す。非さし込みデータ処理装置16はそのデータに非さし込み印刷マーク32がつけられているか否かを検出し、ついている場合はそのデータを無視し(捨て)、ついていない場合は、さし込み印刷処理装置17により、基本文書のさし込み位置に同じナンバのデータを挿入する。それが終ると再度、さし込みマーク検出装置14に制

御が移り、次のさし込み印刷マーク31の検出をする。14でさし込み印刷マークが見つからず、ページエンド(マーク)が見つかり、CPU11はプリンタ装置20へさし込み印刷命令を出し、非さし込み印刷マーク32の付けられたデータを除いて印字する。

この際のさし込み印刷処理動作を第3図乃至第5図を用いてより詳細に説明する。

第3図はさし込み印刷基本文書例、第4図はデータ文書例、第5図は印刷例をそれぞれ示しており、あらかじめさし込み印刷基本文書とデータ文書は作られてあるものとする(ここではさし込みマーク⊕を「機能選択」キー+「6.&.お」キーで入力している。

この例では第4図のさし込みデータから、2番目の「Mr.YAMAMOTO」のデータを抜いてさし込み印刷をするものとする。まず、データ文書の抜きとりたいデータ(ここではMr.YAMAMOTO)の位置にカーソルをもっていき、第4図のように、○で示す非さし込み印刷マーク(「機能選択」

キー+「;.+・れ・ゑ」キーで入力する)32と改行(④)33を挿入し、再び保存をする。ここで非さし込み指定ができたことになり、これをさし込み印刷した結果が第5図である。

上述したようなさし込み印刷処理手段により、直接そのファイルに簡単に変更を加えることができるため、ファイルを作り直す必要がないので、ファイルの削減と時間のロスをおさえることができる。又、どのデータを印刷しないかを選択できるため、特定のデータの印刷がスムーズにできる。更に、さし込みデータナンバーのつけ方により、1つのファイルで複数のさし込み印刷用文書にも応用できる。

尚、上記した実施例は英文ワードプロセッサ上に於いて使用した場合を例にとったが、全てのワードプロセッサ上で使用することができる。  
〔発明の効果〕

以上詳記したように本発明の印刷制御方式によれば、さし込みデータ文書に、直接、非さし込みマークを挿入する手段と、そのマークが付

されたデータを印刷出力対象外のデータとして扱う手段とを備えた構成としたことにより特定のデータを印刷する度に新たな文書を作成し保存する必要がなくなり、印刷をスムーズに行なうことができる。更に不要なデータファイルが削減でき、文書の有効活用を促し、時間のロスを抑えることができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

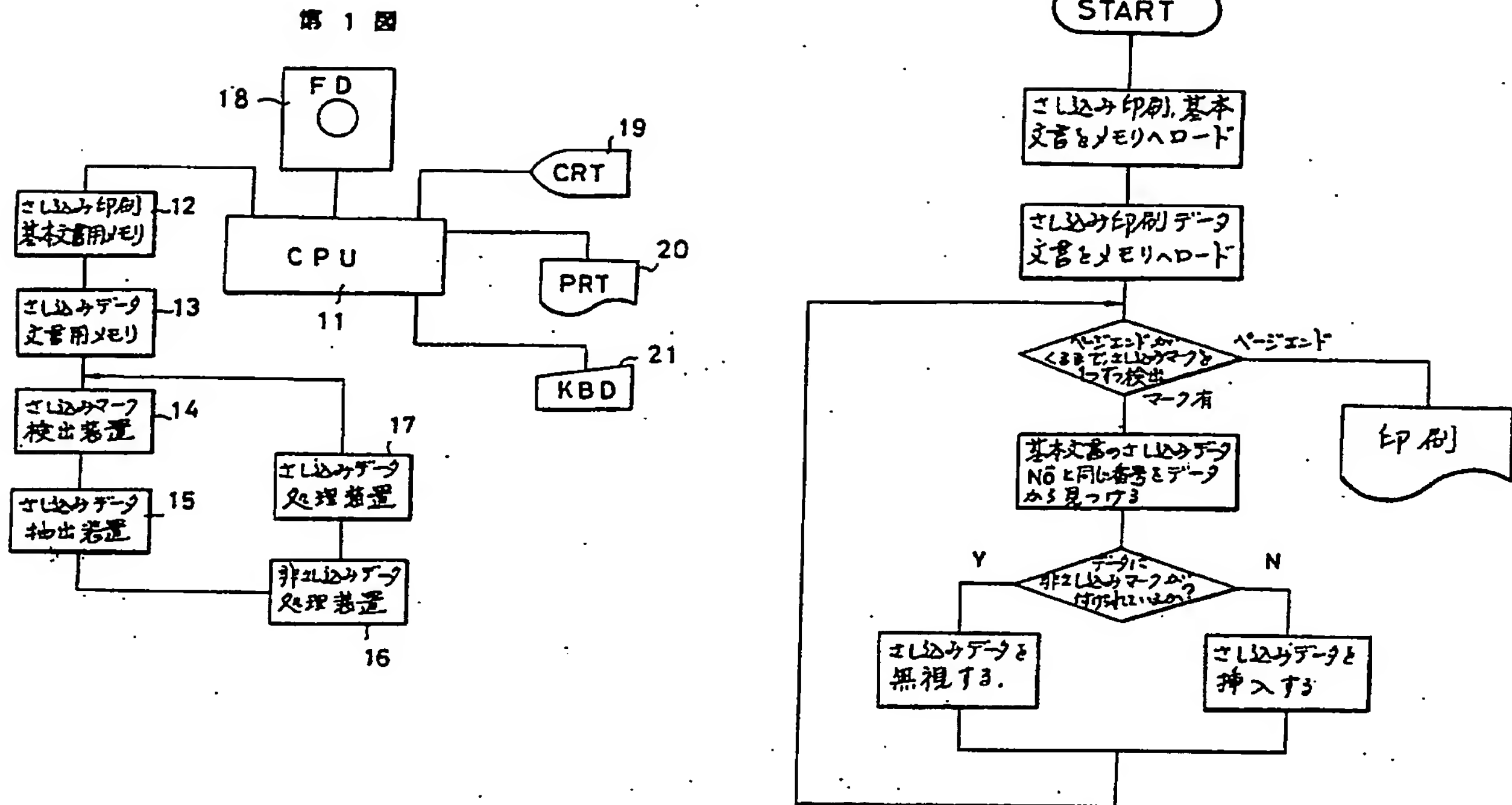
第1図は本発明の一実施例を示すブロック図、第2図は上記実施例に於ける要部の処理フローを示すフローチャート、第3図は上記実施例に於けるさし込み印刷基本文書例を示す図、第4図は上記実施例に於けるさし込みデータ文書例を示す図、第5図は上記第3図及び第4図のデータに従う印刷出力例を示す図である。

11…CPU、12…さし込み印刷基本文書用メモリ、13…さし込みデータ文書用メモリ、14…さし込みマーク検出装置、15…さし込みデータ抽出装置、16…非さし込みデータ処理装置、17…さし込みデータ処理装置、18

…FD(フロッピーディスク)、19…CRTディスプレイ装置(CRT)、20…プリンタ装置(PRT)、21…キーボード装置(KBD)、31…さし込み印刷マーク、32…非さし込み印刷マーク、33…改行マーク。

出願人代理人 弁理士 鈴江武彦

第 2 図



第 3 図

Dear ① 01  
Our new factory will  
be commencing production  
on the 10th of March

第 4 図

① 01 Mr. SATO  
① 01 Mr. YAMAMOTO  
① 01 Mr. KATO  
① 01 Mr. SAITOH

第 5 図

Dear Mr. SAITOH  
Dear Mr. KATŌ  
Dear Mr. SATŌ  
○○○-----  
○○○-----  
○○○-----

